

H30 都立府中東高校 BOXING部

●11月3、4、10日 東京都高校新人戦結果報告

本校を会場に東京都高校新人戦が行われました。新人戦は下記の通り、上位大会につながる大会です。

●男子新人戦●

優勝者 → 関東選抜大会 A ブロック 出場(1 月)

A ブロック 上位入賞 → 全国選抜大会 出場(3 月)

準優勝者 → 関東選抜大会 B ブロック 出場(1 月)

上位入賞でも関東選抜大会で終わり

●女子新人戦●

優勝者 → 関東選抜大会 出場(1 月)

※P.L.F.F.B.Fe.L 級 6 階級実施

※P.F.L 級 優勝者のみ全国選抜大会 出場(3 月)

女子は、昨年度は全国選抜大会 出場にかかわる P.F.L の三階級の実施でしたが、今年度は女子の大会増加、経験のために上記の通り6階級の実施となります。本校から新人戦に出場した各選手の結果は以下の通りです。顧問二人が審判員として参加していますので、写真は撮ることができませんでした。

●男子新人戦●

F 級：萩原湧太（1 年） 1 回戦 対朴 賢（東京朝鮮高級学校） 1 R1' 57" RSC 負 初戦敗退

L W 級：永井志隠（1 年） 1 回戦 対下村泰平（駿台学園高校） 0-3 ポイント 負 初戦敗退

W 級：天野亮太（2 年） 1 回戦 シード

決 勝 対内田奎椰（駿台学園高校） 2-1 ポイント 勝 優勝

M 級：芦川樹（1 年） 認定

L H 級：山口生（1 年） 認定

●女子新人戦●

B 級：田辺未樹 （2 年） 認定

F e 級：星野佳亜奈（1 年） 認定

●学校対抗●

男子のみ学校対抗があり、
本校は第3位 となりました。

F 級萩原はサウスポーの朴選手相手に1R 目中盤にカウントをとられ、終了間際に2 回目のカウントをとられ、RSC 負けとなりました。1 回目のカウントは、カウントではないとも判断できるカウントだった、と試合後に金先生と話しましたが、パンチをもらっているのは事実。先手を取ろうと前に出ていることは良かった点。立ち位置や手を出した時のディフェンスなど課題を見出し次につなげたいと思います。

LW 級永井は2R までは引き分け。3R 勝負の打ち合いを見せた試合でした。3R は下村選手の手数が勝り、28-29 の0-3 でのポイント負け。萩原同様、前に出て攻めていたところは良かった点。決して打ち負けてはいませんでした。攻めているときのディフェンスなどは課題。また最後に打ち負けたところは1 年生全員に必要な課題、メンタルとスタミナです。

W 級天野は、1 回戦はシード。勝ち上がってきた駿台内田選手と決勝となりました。内田選手はハードパンチを持つ長身サウスポー、侮れない相手です。全体的な流れは終始天野が握っていたと思います。終始先手を取り、距離を詰め打った後はサイドに動き、3-0 で勝ちかな、と思う内容でしたが、内田選手を勝ちにしているジャッジが一人いました。天野は関東選抜にA ブロックで出場します。また、天野の他男子2 名、女子2 名が認定で関東選抜大会に出場します。

応援、よろしくお願いします！

平成30年度 第7回関東高等学校ボクシング選抜大会

期日：1月24日（木）～27日（日）

会場：群馬県（ALSOK ぐんま総合スポーツセンター）

〒371-0047 群馬県前橋市関根町 800 番地

●11月10日 東京都女子ボクシング選手権大会 結果報告

新人戦と同時開催で東京都女子ボクシング選手権大会が開催されました。この大会は優勝すると12月20日(木)から24日(祝)まで長崎県で開催される全日本女子ボクシング選手権大会に出場することができます。昨年度、出場した星野千梨菜が準優勝したことで日本ランキング1位にランクインされた大会です。今年は本校から3名エントリーいたしました。試合があったのは1名のみで、結果は以下の通りです。

F級：田辺未樹（2年） 決 勝 対成田華(駿台学園高校) 1R0' 52" RSC 負

B級：星野千梨菜（3年） 認定

F e級：星野佳亜奈（1年） 認定

F級田辺の相手は今まで何度も対戦している、駿台の成田選手。今までよりも積極的に前に出ました。今までは先手に欠ける展開が多かったため、今回は積極的に前に出ました。しかしキャリアに勝る成田選手の的確なパンチが田辺をとらえ、1RでRSC負けとなりました。前に出たことによりパンチをもらうリスクが高まり、相手のパンチに対する反応、対応が足りなかったところが大きな敗因です。しかし負傷により練習ができていなかった時期があるなかで、今までよりも前に出て攻めることができた点は良かったところ。これからはオフェンス時にはディフェンスを意識することが必要です。いかに攻めているときに相手のパンチをもらわずに攻めることができるか、が大事で1月に出場する関東選抜大会までの課題となります。

B級星野千梨菜、Fe級星野佳亜奈はともに相手がおらず、1月開催の全日本女子ボクシング選手権大会には認定で出場となります。

3年星野千梨菜はノンキャリアで臨んだ昨年の全日本とは異なり、今年は昨年度準優勝で日本ランク1位、また関東チャンピオンとキャリアを積んで臨む高校ラストの大会となります。全国選手となったため今大会の対戦相手は対策も練ってくると思います。また3年生のため練習量も昨年度と比べ減っているのは事実です。苦戦するとは思いますが、昨年成し遂げなかった全国優勝を目指し、全力を尽くします。応援をよろしくお願いします。

1年星野佳亜奈は今年の関東大会では準決勝から出場し、敗退の3位。星野千梨菜は2年の関東大会でデビュー、同じく敗退で3位、公式戦キャリア1敗で全日本女子ボクシング選手権大会に臨みました。学年こそ違いますが、千梨菜と同じ道をたどっています。今回の全日本で一つでも多く勝ち、キャリアを積み、今後に活かしていきたいと思います。応援をよろしくお願いします。

●全日本女子 関東選抜大会に向けて

平成30年度 第17回全日本女子ボクシング選手権大会

期日：平成30年12月20日(木)～12月24日(月)

会場：長崎県（長崎県立総合体育館）

〒852-8035 長崎市油木町 7-1

今年度も昨年度同様さまざまな学校に遠征に行かせていただいておりますが、12月の全日本女子、1月の関東選抜大会に向けても遠征に行かせていただく予定です。今のところ決まっているのは

11月23日(祝) 山梨県日本航空高等学校(甲府昭和高校も参加)

11月24日(土) 神奈川県武相高等学校

11月25日(日) 東京朝鮮高級学校

12月 8日(土) 1日：日本体育大学(女子合同合宿に通いで参加させていただきます。)

12月 9日(日) 午前のみ：日本体育大学(女子合同合宿に通いで参加させていただきます。)

様々な学校に赴き、また来ていただき、様々な選手と手を汗ともに練習することは部員にとってかけがえのない機会となります。このような練習に呼んで頂けること、遠征を受けて頂けることに感謝しながら、日々精進していきたいと思います。また先日11月18日(日)には山梨県甲府昭和高校が練習に来てくださいました。この模様はまたご報告させていただきます。